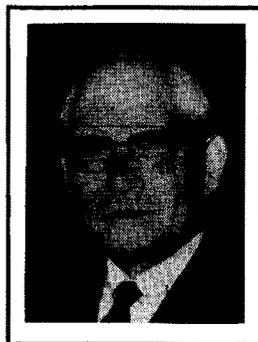


加藤威夫氏を偲ぶ

藤 森 謙 一



加藤威夫さんは昭和40年の5月に安川第五郎さん(故人)のあとを受けて会長にご就任になった。安川元会長と同じ電機関係のご出身で、早くから日本事務能率協会・日科技連・生産性本部等の役員をつとめられ、特にIEでは運営委員長の後に副会長をつとめられ、昭和36年にはQCでデミング賞を受賞されたこの道で赫々たるご経歴をもたれた方である。安川先輩からのご推薦で快く第6代の会長にご就任願った。私は庶務担当常務理事として安川元会長ご就任の時も裏方をつとめさせられたが、加藤会長ご就任に際しても加藤先輩とは経済同友会とか東京ゴルフ倶楽部などで「オイ藤森」とよびつけられるお付き合いだったので、日本建鉄の社長室に学会としてお願いに上がった時「お前が副会長をつとめるのが条件だぞ」などざっくばらんに冗談を言われた“オヤジ”だった。

加藤会長ご就任当時わがOR学会の活動も非常に活発になった時代で、昭和40年8月には米国OR学会会長ウォルシュ博士(故人)を迎えて国際会議(ORAW)を開催大成功をおさめ、また同年、国際OR学会(IFORS)モースMIT教授来日の機会にOR学会主脳との懇談会を催し加藤会長が司会され多大の成果を得、日本のOR学会の地位を国際的に認識させることに大いに寄与した。加藤会長ご就任時の抱負のひとつ“ORと経営”これを日本の経済発展にいかん活用するか、などを中心に学会をリードされてきたお姿が目にあたりて浮ぶ。その後も日経連・日本生産性本部・日

本IE協会等斯界の長老としてのご活躍は誠に敬服していた次第である。ゴルフも近年まで好々爺として奥様と一緒に楽しまれていた。

安川さんについて、加藤元会長をお見送りすることになってしまい誠に残念に思います。ご冥福をお祈りして筆をおきます。

故加藤威夫氏略歴

- 本籍 東京都新宿区上落合2丁目22番26号
住所 同 上
出生 明治28年8月5日
大正9年7月 東京帝国大学工学部電気科卒業
大正9年8月 三菱造船神戸造船所電機製作所
大正10年 三菱電機株式会社設立転籍
大正13年6月 米国ウエスティングハウス会社に留学
(大正14年6月まで)
昭和19年3月 三菱電機神戸製作所長
昭和21年8月 同社本店生産技術部長
昭和22年4月 同社取締役を経て33年より顧問
昭和32年5月 日本建鉄取締役社長を経て46年より顧問
昭和34年11月 藍綬褒章受章(労働省)
昭和36年11月 デミング賞受章(品質管理)
昭和37年5月 山武ハネウェル計器株式会社取締役を経て46年より相談役
昭和40年11月 勲四等旭日小綬受章(労働省)
昭和50年11月 (財)経営科学振興財団から経営科学化有功章受章(生産管理)

〔本会関係〕

- 昭和40年5月 会長に選出される
昭和42年5月 名誉会員に推薦される
昭和56年11月 30日10時45分逝去 急性心不全